

調査方法

1 サンプルビン（試料容器）

- ◆サンプルビンには、ガラス製、ポリエチレン製などがあるが、分析項目によって使い分ける。COD、窒素、リンなどでは割れにくいポリエチレン製のプラスチック製が適している。
- ◆栓はねじぶたのものを用いる。
- ◆サンプルビンは、使用前に水道水などで洗浄する。

2 採水方法

河川・水路では、次のように採水を行う。

- ◆河川・水路の流れの中心で、採水する。
- ◆採水は、橋などの上からロープ付きバケツで行うか、河川などに入って直接行う。湖沼や海域で、水深の深いところの採水には、専用の採水器を使う必要がある。
- ◆河川などに入って採水する場合は、川底の泥を巻き上げないようにして、身体の上流側で採水する。
- ◆採水バケツやサンプルビンは、採水した水で2～3回洗う（これを共洗いという）。
- ◆サンプルビンに試料を満水になるまで入れる。
- ◆試料は、採水後なるべく早く試験に供する。
- ◆試料の採水場所が多いときなどは、試料をクーラーボックスで冷蔵するなどして保存に注意する。

3 記録事項

採水時には、次の事項について野帳などに記録する。

- ◆試料の名称（採水場所）、試料番号など
- ◆採水年月日、時刻
- ◆採水時の天候と前日の天候
- ◆採水者の氏名
- ◆採水時の気温と水温
- ◆そのほか、試料の外観（色や濁りなど）、臭気の有無など参考となる項目